

参加型シネマワークショップ

未来シャッター

新しいつながりで、未来へのシャッターを上げよう！

複雑で多様な課題が横たわる混沌とした現代社会の中で、私たちは漠然とした閉塞感を持ってしまい、その結果、知らず知らずのうちにそれぞれの境界線を引いてしまっているのではないのでしょうか？

今回開催する「参加型シネマワークショップ」では、そんな問いかけでつくられた映画「未来シャッター」の物語を題材に、「自分たちで創る自分たちの未来」をテーマにしたワークショップを開催します。

「今の私達の周りにある問題はなんだろう？」

「自分の境界線はなんだろう？」

「今から出来ることはなんだろう？」

映画という共通体験を通し人と人とが出会い、福山の街の中に埋もれているであろう様々な「想い」をつないでいき、ワクワクする未来の福山へのシナリオを創っていきましょう！

11/6 **参加無料**

中国地方初開催



Special Guest

「未来シャッター」監督
内閣官房地域活性化伝道師
高橋 和勸氏




□日時：2016年11月6日（日）14時～17時（開場：13時半）

□会場：福山駅前シネマモード

□プログラム

- ・ご挨拶
- ・「未来シャッター」上映
- ・高橋監督 作成秘話
- ・対話のワークショップ「自分たちで創る、自分たちの未来」

□参加費：無料

□主催：  広島県 平成28年度広島県創業意識啓発事業

この事業は、広島県が株式会社フューレックに委託して実施するものです。

□企画、実施：株式会社フューレック（受託事業者）

フューチャーセンター福山（プログラム提供）

□お問い合わせ：Ha-Lappa（担当：延岡 084-959-5000）

*本イベント後も、未来志向の対話やデザイン思考などを取り入れた継続的なワークショッププログラムを展開し、福山～瀬戸内のまちづくりアイデアの具体化やプロジェクトの構築、そしてイノベーションなビジネスの創出を支援していく予定です。

映画「未来シャッター」は、上映後に行う「対話のワークショップ」により「最初の一步」を創っていく、新しい参加型の映画として、全国各地で上映され話題を呼んできました。

参加お申し込みはこちら
こくちーずよりお申し込みください
<http://qq1q.biz/y9RJ>



参加型シネマワークショップ

未来シャッター

新しいつながりで、未来へのシャッターを上げよう！



参加型映画「未来シャッター」とは？

「未来シャッター」は、「今、私達が社会や街に閉塞感を感じているのはなぜか？」を問いかけにしたフューチャーセッションで企画され、有志の手によって生み出された映画です。その制作には通常の映画制作の常識を超える多様なメンバーが協力し合い完成しました。

これまでに多くの自治体や商工会などの団体、大学などで対話のワークショップとともに上映されてきました。直近では江戸東京博物館大ホールで開催されています。

登場人物は、ほぼ全員が蒲田を中心とした街の人々で、ほとんどが実在する自分自身の役として登場されます。

中心となる女性をはじめ、主に3人の視点が入れ替わりながら物語は進んで行きますが、その他にも様々なシーンで様々なキーマンが現れ、それぞれの場面で主人公にとって、おそらく私達にとっても「大切な言葉」を残していきます。

様々なシーンと登場人物が行き交う万華鏡のようなこの映画には、少し違和感を感じるかもしれません。

それは、「自分のシャッターはどうやったら開くのだろうか？」という問いかけを考える題材でもあります。

「未来シャッター」は、見て終わりだけの映画ではなく、対話とのセットで成立する「参加型の映画」なのです。

「今の私達の周りにはどんな問題があるだろうか？」

「自分の境界線はなんだろうか？」

「今から出来ることはなんだろうか？」

映画という共通体験を通し、人と人が出会い、お互いを分かち合い、未来に向けて話し合うことで最初の一步を踏み出す。私たちは、このシネマワークショップを通じ、福山そして瀬戸内に「未来に向かってシャッターを上げていく場」をつくっていきたく願っています。

FutureCenterFUKUYAMA 有志一同

2016年11月6日（日）

14時～17時（開場：13時半）

於：福山駅前シネマモード

Webからの申し込みが難しい方は、

下記にご記入の上、Ha-Lappaまでお持ちいただくかFAX（084-959-5000）にてお送りください。折り返し参加証をお渡します

参加を申し込みます

お名前

年齢

才

男性

女性

ご住所

Tel（携帯可）

FAX
参加証送付先

参加証

申込にご記入いただいた情報は株式会社フューレックからの各種連絡・情報提供のために利用するほか、講師へ参加者名簿として提供します。